

ネギ自動納品開始

こと京都 店舗人手不足に対応

九条ネギの生産から加工、販売まで手掛ける農業生産法人・こと京都は、販売先店舗に向け、データ解析で必要量を自動計算して届ける、自動納品サービスを開始する。日持ちがしないネギは、毎日の発注管理が面倒で、発注忘れや数量間違いが発生しやすい。同サービスはこの防止とと

もに、発注作業を軽減し人手不足に対応。恩恵は、顧客側はもとより、同社も事務作業大幅軽減と需要に即した農業生産・加工が可能となる。日本初の生産者主導で開発したシステムを活用した「まさに畑から消費者に届けるまで」一気通貫サービス（山田敏之社長）も農業界初だ。

このサービスは、過去発注のアルゴリズム解析により、95%の確率で需要量を予測する「KPS」と、予測されたオーダーを確認・発注する「KOS」の2システムで構成。KPSが過去データを解析し、予想数量を算出。顧客のパソコンやスマートフォン上のKOSシステムに表示され、

店舗で数値を確認・修正し発注する。同社がこれに合わせカット工場で製造して出荷し、店舗に届ける流れだ。取引実績3ヵ月以上から開始できるという。開発に着手したきっかけは、同社の事業開始当初、店舗側の発注忘れが多く、双方チャットロスにつながり、電話確認が必須となっていた。だが、売上げが4倍近く拡大した昨今、手が回らない状況に陥り「まさに当初の原点ともいえる顧客サービス」を、最先端テク

ノロジーで復活させた「（山田社長）と願ったことだ。このサービスは、自

前発注管理システムを持たない、個店から数十店舗程度のチェーン店に向いており「この規模の最大課題である人手不足問題解決の

一助とし、成長をバックアップし、当社の発展にもつなげたい」と山田社長は意欲を示す。（佐藤路登世）